

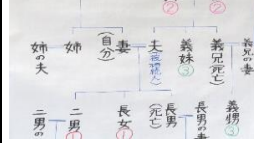


SILVER COLLEGE NEWS
シルバークレッジ
新聞

発行元:シルバークレッジ
事務局/教育部生涯学習課(美和公民館)

「あらかじめ心づもりのある人生」を
「エンディングノートを書いてみよう」

十一月二十八日(火)は、行政書士の打田和彦先生を講師にお招きし、「エンディングノートの書き方」について学びました。「よりよく生きるために」今の自分を文字に表すことで、今後の課題が見えてくる。物の整理や財産の覚書など、気づいたときに書けるところから書き留めることが大切だというお話にみんな納得しました。授業では様々な状況を想定した解説が行われ、活発な質問が飛び交うなど、とても有意義な時間となりました。



相続税は
むずかしい…

少しずつでも今日から…学生の声

- エンディングノートを書くかと思いつきながら、つい先延ばしになっていきます。明日と言わず、今日から少しずつ書いていこうと思います。自営業のため主人の遺言は公正証書遺言で作成しましたが、次は自分も作成しようと思います。
- 自分の身に切実に迫っていることが多く、大変勉強になりました。
- 父が死亡したとき、銀行の引き落としで苦労したことが思い出されました、子供たちの手を煩わせることがないようにしていこうと思えました。
- 先日、成年後見人の講座を受けました。六十五歳からエンディングノートを書いて、毎年チェックしてきました。でも、介護、終末期、葬儀について、さらには、供養に関してまだ書面に残していないことに気づきました。口頭のみでは残された者が困るでしょうから、新たに書き残したいです。
- なかなか興味深い講義でした。いろいろなケースがあるものですが、財布を持たない夫はつらい。先生のお話は、綾小路きみまろのように面白い。

新リーダー決まる！



最後のリーダーが、立候補・神の声で決まりました。卒業式まで(式後)よろしくお願ひします。

アルバム写真撮影



この日は久しぶりの全員出席でした。グループ全員がそろった今がチャンス！とばかりに班の集合写真を撮りました。「もっといい服で…」「お化粧が…」などの声にも負けず、すべての班を撮り終えました。大丈夫。笑顔が何よりのお化粧になっていますよ。



ちーず